

みずほCustomer Desk Report 2023/08/10号(As of 2023/08/09)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	143.47 AUD/USD
TKY 9:00AM	143.24	1.0960	157.08	1.2744	0.6533
SYD-NY High	143.75	1.0995	157.90	1.2782	0.6571
SYD-NY Low	143.00	1.0955	156.98	1.2713	0.6521
NY 5:00 PM	143.75	1.0975	157.72	1.2721	0.6529

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	35,123.36	▲ 191.13	日本2年債	0.0100%	0.0000%
NASDAQ	13,722.02	▲ 162.31	日本10年債	0.5700%	▲0.0400%
S&P	4,467.71	▲ 31.67	米国2年債	4.8091%	0.0503%
日経平均	32,204.33	▲ 172.96	米国5年債	4.1379%	0.0245%
TOPIX	2,282.57	▲ 9.16	米国10年債	4.0151%	▲0.0119%
シカゴ日経先物	32,145.00	▲ 190.00	独10年債	2.4650%	0.0250%
ロンドンFT	7,587.30	59.88	英10年債	4.3655%	▲0.0160%
DAX	15,852.58	77.65	豪10年債	4.0030%	▲0.0540%
ハンセン指数	19,246.03	61.86	USDJPY 1M Vol	9.03%	▲0.47%
上海総合	3,244.49	▲ 16.13	USDJPY 3M Vol	9.69%	▲0.25%
NY金	1,950.60	▲ 9.30	USDJPY 6M Vol	9.39%	▲0.21%
WTI	84.40	1.48	USDJPY 1M 25RR	▲0.82%	Yen Call Over
CRB指数	282.04	2.82	EURJPY 3M Vol	9.75%	▲0.18%
ドルインデックス	102.49	▲ 0.04	EURJPY 6M Vol	9.63%	▲0.16%

東京	東京時間のドル円は143.24レベルでオープン。 仲値付近にかけドル買いが強まり、その後143.40を付ける場面があるも長続きせず。翌日発表される米7月CPIを見極めたいとの向きが多く、ドル円は狭いレンジで動意に乏しい展開となった。結局143.15レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、143.15レベルでオープン。本日はドル高の様相で、欧州株も昨日の下落から銀行株中心に反発したこともあり、ドル円は堅調推移。143.44レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は143円台半ばでスタート。注目の米7月CPI発表を翌日に控え、様子見姿勢が強い中、143.20付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、143.44レベルでNYオープン。朝方は米金利低下に伴い、143.25まで下落する。その後欧州株式市場が総じて反転上昇した展開を受け、円の売り戻しが強まり、ドル円もじり高で推移し、143.73まで上昇する。午後は米10年債の好調な入札結果を受け、米金利が低下するにつられ、143.50まで下落する場面も見られたが、その後再び143.75まで反発し、同レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台半ばでスタート。前日に発表されたイタリア当局による金融機関に対する「超過利潤」の課税を一部撤回する報道が好感され、ユーロの買戻しが優勢となり、1.0970レベルでNYオープン。オープン直後は1.0963まで値を下げるも、その後独金利が上昇する展開に反応し、1.0995まで上昇する。午後は先述の米7月CPIの発表を翌日に控え、積極的な取引が手控えられる中、1.0980付近で揉み合い、1.0975レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上遠野・松木

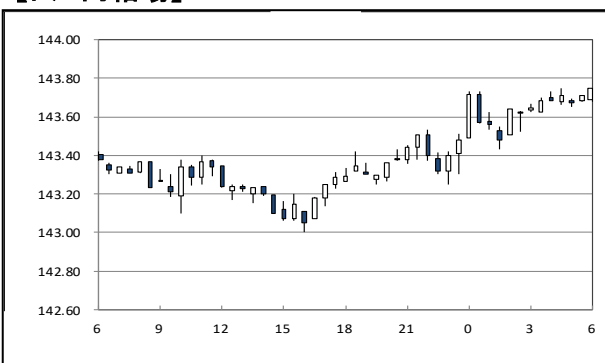
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
8月9日	10:30	中	CPI(前年比)	7月	-0.3%	-0.4%
	10:30	中	PPI(前年比)	7月	-4.4%	-4.0%

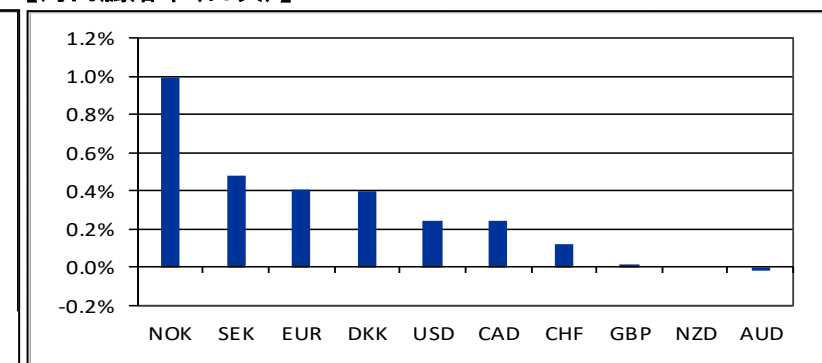
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
8月10日	21:30	米	新規失業保険申請件数	5-Aug	230k	227k
	21:30	米	GPI(前月比/前年比)	7月	0.2%/3.3%	0.2%/3.0%
	21:30	米	コアCPI(前月比/前年比)	7月	0.2%/4.7%	0.2%/4.8%
8月11日	00:00	米	デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-	-
	04:00	米	ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-	-
	05:15	米	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.50-144.50	1.0930-1.1000	156.50-158.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はリスクオフが先行し下落するも、143.00では底堅さをみせ、欧州株式市場の上昇や米7月CPIを抑えた思惑等も背景に海外時間に143.75まで反発する展開。東京時間、日経平均の下落や中国7月CPIが約2年半ぶりにマイナス圏に沈み中国景気への先行き不安が強まったことで下落し、ロンドン時間序盤にかけて143.00の日通し安値をつける。しかし、その後イタリア政府が「前日発表していた銀行への超過利潤税の一部を撤回したことで欧州株が反発しリスクオフムードがやや後退。米金利の上昇を眺めつつ、ドル円はロンドンフィキシングにかけて143.75の日通し高値まで上昇した。その後、米10年債入札の堅調結果を受けて米金利が低下する場面があるも底堅く、ドル円は高値圏のままNYを引けている。

本日ドル円は、今晚の米7月CPIの発表を抑え、日中は様子見色強めのレンジ展開が想定されるが、昨日の米金利の底堅い推移や本邦連休前の5・10(ゴト一日)における実需ドル買いも巻き込みながら、方向感としては上値を試す展開をみておきたい。米7月CPIの市場予想は、前年比総合指数ベースでは前回(6月)から上昇、コアベースでも前回から小幅低下に留まる見込みであり、利上げ期待が再度強まる可能性にも警戒したい。